(○) 遊漁船専用・()漁船と兼用・()他使用と兼用 (○) 単独記載・ (○) 単独記載・ (○) 単独記載・ (○) 半額記載 (○) ※務用無線 (○) その他 ()() との他 ()() と称) と称 ()() と称) と称 ()() との他 () との他 ()() との他 () との他 ()() との他 ()() との他 ()() との他 ()() との他 ()() との他 ()() との他 () との他 ()() との他 ()() との他 () との他 ()() との他 () との他 ()() との他 ()() との他 () との他 ()	日初和	18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 1	9 建里日 1:	名又は名を	[2:	小年 年月	3:	1	1
登進番の	以表 4(:	全 枚0	() 故目) 遊漁船	の総トン	数又は	長さ、定	員及び通	信設備	*
上で 上で 上で 上で 上で 上で 上で 上で	The second second			総トン数	長さ	77.5 5 500		主たる	業務:@
遊漁船の使用状況 (該当に〇) 遊漁船の記載状況 (該当に〇) 船舶の所有状況 (該当に〇) 船舶の所有状況 (該当に〇) ※ 290 - 63760			机行	その他は	全て: C				
(で) (下) (T) (T	2		遊漁船の	使用状況((該当に())			
() 平水・ () 限定治海・ () 治海・ () 遠洋、近海 () 遊漁船専用・ () 漁船と兼用・ () 他使用と兼用 () を良型牧命いいた () 重複記載 () 等務用無線 () 衛星電話 () AIS (船舶自動識別装置) () その他 () () その他 () との他 () と変漁船専用・ () 漁船と兼用・ () 他使用と兼用 () 連独記載・ () 漁船と兼用・ () 他使用と兼用 () 単独記載・ () 漁船と兼用・ () 他使用と兼用 () 単独記載・ () 衛星電話 () 業務用無線 () 衛星電話			(50)	の状(該当)	況	の対			
() 平水・ () 限定治海・ (o) 沿海・ () 遠洋、近海 () 遊漁船専用・ () 漁船と兼用・ () 他使用と兼用 () で () 改良型救命い (o) 自己所有船舶・ () 作体で言古) () AIS (船舶自動識別装置) () その他 () 他者所有船舶・ () 他者所有船舶・ () との他 () と変漁船専用・ () 漁船と兼用・ () 他使用と兼用 () 連独記載・ () 漁船と兼用・ () 砂良型救命いかだ () で ()			0)		1,00		1		
() 重複記載 () 業務用無線 () 衛星電話 () AIS (船舶自動識別装置) () その他 () その他 () その他 () その他 () をかた () 限定沿海・() 沿海・() 遠洋、近海 () 遊漁船専用・() 漁船と兼用・() 他使用と兼用 () 単独記載・() 重 () 業務用無線 () 改良型救命い 複記載 () 衛星電話 () 改良型救命い かだ			() 平水・() 限定	沿海。(0) 沿海	・ () 遠 他使用と	兼用		強し※2
(O)自己所有船舶・ ()他者所有船舶・ ()をかむ 話) ()その他 ()をかし、 ()をかし、 ()をかし、 ()をかし、 ()をかし、 ()をかし、 ()をかし、 ()を対し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()を注し、 ()をし、)をし、 ()をし、)。 ())をし、)。 ())。 ())。)。 ())をし、)。 ())。 ())。 ())。)。 ())。 ())をし、)。 ())。 ())。 ())。)。 ())。 ())。 ())。)。 ())。)。 ())。)。 ())。 ())。)。 ())。 ())。 ())。 ())。 ())。 ())。 ())。 ())。 ())。 ())。 ()。)。 ())。 ())。 ())。 ())。 ())。 ())。 ()。)。 ())。 ()。。 ()。)。 ()。。 ()。。 ()。。 ()。。。 ()。。。 ()。。 ()。。 ()。。 ()。。 ()。。 ()。。。 ()。。 ()。。 ()。。 ()。。 ()。。。 ()。。 ()。。 ()。。。 ()。。。 ()。。。。 ()。。。。。。。。				() 衛。	星電話	かだ () EPI 用位置等	RB(非常 発信装置)		
() 平水・()限定沿海・()沿海・()遠洋、近海 ()遊漁船専用・()漁船と兼用・()他使用と兼用 ()単独記載・()重()業務用無線がだがだ 複記載()衛星電話			(0) 自己所有船舶・() 他者所有船舶			動識別裝置	置)		
() 遊漁船専用・()漁船と兼用・()他使用と兼用 () 単独記載・()重()業務用無線がかだ。 複記載 () 衛星電話				· >>		-	人	{ }	強し※2
複記載 () 衛星電話 かた			() 12		7	- AND THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO	The second secon	1 } 72	の他
() EPIRR (建筑			複記載・()]			22.42			
() も己所有船舶・ () 他者所有船舶・ () 他者所有船舶・ () その他 () その他 () その他				() ~	の他)	動識別装	S(船舶自置)		

通信設備及び救命設備については、船の種類や航行区域等に応じて国土交通省が定める要件に適合す るものであること。

その他(

多もの利用者を特定の場所に下船させて水産動植物を採捕させる業態を指し、磯渡し、筏渡し、防波堤渡し、 沖で干出する場所での潮干狩り等が該当 (法令等で立入禁止の場所に渡すことはできない)。 ※3 他の事業者の遊漁船として登録簿に記載されている船舶を当該事業者の遊漁船としても記載されてい

是録番号	# TENE /	170		氏名	又は名称		加	司為自	")		,
F成日 /	R6/6/9	変更日	1:	1	/	12:	/	/	3:	/	/

川表 6 安全の確保のため船長及び業務主任者が遵守すべき事項

航行中及び利用者が水産動植物を採捕している間、船長及び業務主任者は以下のとお り行動します。

〇一般的事項

- ・出航から帰航するまでの間は、飲酒はしません。また、酒気を帯びて漁場に案内しま せん。
- ・航行中、波の影響により船体が動揺するときは、波の状況について適切な見張りを行 うとともに、波に対する進路の変更を行い、かつ、安全な速力まで十分な減速を行う ことにより、船体動揺の軽減に努めます。
- ・航行中、波の影響により船体が動揺して危険が予想されるときは、利用者に対して動 揺が比較的小さい船体中央より後方の部分に乗船するよう指導します
- ・乗船中は、船室内にいる場合を除き、救命胴衣(船に備え付けられ、又は持ち込まれ た、船舶の種類や航行区域に応じて国土交通省が定める要件に適合するものをいいま す。以下同じ。)を着用します。
- ・乗船中は、船室内にいる場合を除き、利用者に常に救命胴衣を着用させます。
- ・12歳未満の小児には、乗船中は、常に救命胴衣を着用させます。
- ・利用者の乗降場所から漁場又は漁場から漁場までの間における岩場、浅瀬、河川域、 防波堤、定置網、養殖施設等を調査し、危険性の評価を行い、特に危険と認められる 場所について、別添にとりまとめ、安全に航行できる航路、避険線等の設定を行いま
 - ・航行中はGPSプロッター等を利用して自船の位置を確認し、上記で設定した航路の航
 - 行、避険線に基づいた安全な航行を行います。 ・随時、気象や海象等に関する情報収集を行い、気象又は海象等の状況の悪化等、利用 者の安全の確保のために必要と判断される場合は、船室内においても利用者に救命胴 衣を着用させます。
 - ・その他 (
 - 〇船釣りをする場合
 - ・利用者を案内している間は、船長及び業務主任者は自ら釣りをしません。
 - ○瀬渡しをする場合
 - ・利用者の安全確認のため、渡した磯等を定期的に巡回します。
 - ・磯等において、利用者には常に国土交通省が定める要件と同等以上の性能を有する救 命胴衣を着用させます。
 - ・磯等において採捕を終了した利用者を収容し帰航する際、利用者が遊漁船に乗船して いることを確認します。
 - 〇体験漁業(観光定置、観光底びき等)をする場合
 - ・利用者が網揚げ等をしている間、利用者に危険が生じないよう安全に操業します。

登録番号 7	建1 3	施清善!
作成日 人	6/6/9 変更日 1: / / 2	, , , , , ,
引表7 出	航中止基準及び帰航基準	
出航中止	出航の可否の判断は、以下の方法により)行います。(該当に〇)
基準	(〇) 民文中 少不几体亡	()団体による判断
	(〇) 単独の判断	()四年による刊例
	出航地や案内する漁場、出航地から案	出航中止の判断は、以下のとおり
	内する漁場までの間において、以下のい	行います。
	ずれかの状況となっている場合、出航を	①出航中止を判断する団体名
	中止します。	
		②上記団体の代表者、連絡先
	•海上警報(風、霧等)、波浪警報、津	代表者
	波警報・注意報の発令中 出航地の波高 7.5 m以上	連絡先
	出航地の波高 出航地の風速 7 m以上 加以上	③団体の構成員の氏名又は名称及
	出航地の視程 /000 m未満	び登録番号
	・ 抜雪のおそれがあるとき	別紙1のとおり
	・ 事業者、船長又は業務主任者のうち、	④出航中止の判断の方法
	いずれか1名でも危険と判断したとき	別紙2のとおり
	・その他	
帰航基準	案内する漁場において、以下のいずれか	つの状況に至った場合、帰航すること
7年加至	しします。	
	・海上警報(風、霧等)、波浪警報の発行	
	・利用者に急病人やケガ人が出たとき 漁場における波高 //5	
	漁場における風速 7	一m以上 m以上
	漁場における視程 /000	m未満
-	・世界のおそれがあるとき	
	・・洛雷のおこれがあることとの後には一・上記の他、利用者の安全の確保が困難に	こなると予想されるしも
330000	・その他(2360455

.

以		
登録番号福岡县 1173	氏名又は名称 横端美見り	-
作成日 26/6/9 変更日 1:	// 2: // 3: //	

別表8 気象又は海象等の状況が悪化した場合の対処

気象又は海象等の 状況が悪化した場 合の避難する場所 出航した港等に帰航できない場合は、以下の場所に避難をします。

別しに倍寺に帰加しさない場合	TIA, MINICELLE
案内する漁場の位置	避難する港
玄界漢 東部	沖, 島
"北部	小号, 島港
" 两部	芦辺漁港
博为湾内	福岡船溜む
唐津湾内	呼子漁港

上記の他、帰航を判断した場所から最も近く安全に避難できる場所に避難します。

潮	渡し (磯、筏、防波堤等渡し) の業務を行う場合	
磯等と遊漁船との 間の連絡方法※ (該当に〇)	()携帯電話()衛星電話()利用者に渡した発煙筒()その他()
磯等に を を を を を を を を を を を を を		
津波警報、注意報が発令された場合の対応		

※連絡手段の通信設備については、船舶の種類や航行区域等に応じて国土交通省が定める ※連絡手段の通信設備については、船舶の種類や航行区域等に応じて国土交通省が定める 要件に適合するもの。 要件に適合するもの。 要件に適合するもの。 要件に適合するもの。 要件に適合するもの。 ※気象又は海象等が悪化した場合は、必要な措置をとった上で、速やかに連絡責任者に連 ※気象又は海象等がある。

登録番号 福田県 117	3	氏名又は名	路 福	商善則		Maria de la
作成日 R 6 / 6 / 9	変更日 1:	//	2:	//	3:	//

別表 10 情報を収集すべき事項

に必要な情報

(1) 利用者の安全の確保 出航地における波高、風速、視程

出航中止を判断する団体の出航判断等に関する情報

水路通報、気象・津波・海上警報等の情報

乗船する利用者数

(12歳未満の小児が含まれる場合は、その人数)

法に基づく協議会において協議が調った事項や海面利用協 議会等で定められた事項など、地域における安全確保に関す る情報

立入禁止区域に関する情報

(2) 漁場の安定的な利用 関係の確保に必要な情 報

法第16条に基づき利用者に周知する必要がある「案内する漁 場における水産動植物の採捕に関する制限又は禁止及び漁 場の使用に関する制限の内容」について、当該漁場を管轄し ている都道府県知事が提供している情報

漁場利用協定や漁場慣行等について、案内する漁場を管轄す る都道府県に設置されている海面利用協議会が提供してい る情報

法に基づく協議会において協議が調った事項や海面利用協 議会等で定められた事項など、地域における漁場の安定利用 に関する情報

		THE ALL	ı
I.	登録番号 *福田県 1173	氏名又は名称 * 楢 埼 巻 9)	
1	作成日 * 3/4/19 変更日	1: // 2: // 3:	1

周表 11 法第 15	条に基づく周知の内容及び方法等	
周知の方法	(金) 遊漁船に周知内容を掲示する。	
(該当に〇)	(〇) 遊漁船の乗船前に普面で配布をする。	
周知する内容	案内する漁場に係る下記の事項であって、	17まがく爆発物、有
	案内する漁場に係る「配の事項であって、 ① 水産資源保護法(昭和26年法律第313号)	に番う、一味がいい、い
1.4 1.1 1.1	電物の使用祭正 ② 漁業法(昭和24年法律第267号)、水産資源	引木喪伝に盛っく日ゥ
	(瀬戸内海漁業取締規則等)	
	③ 都道府県漁業調整規則	
	④ 海区又は連合海区漁業調整委員会の指示	
	の。土地海州和教禾昌今の指示	- W 18 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	● ★米老が正属する団体が当事者となってV	いる漁場利用協定(沿月
	漁場整備開発法(昭和49年法律第49号)に基	まづき届出されたもの。
	⑦ 事業者が所属する漁業協同組合が定めた資	資源管理規程(水產業的
	同組合法(昭和23年法律第242号)に基づき	認定を受けたもの。)
	利用者の採捕に係る	
	ア)漁具及び漁法 (撒き餌、釣り餌の制限を含	含む。)の制限
1. 1. 1. 1. 1.	イ) 水産動植物の大きさの制限	
	ウ) 採捕禁止となっている水産動植物の種類	
	について周知します。	
	+ (〇) 都道府県漁業調整規則又は海区、連合海	マギー くけ広は海紫調
利用者保護の	整委員会の指示によって定められた水産動材	
上めに革物土	用者に採捕させる水産動植物に係るものに降	個な) に安内) ナル
任者が遵寸り	川田に水油でにあれたまれたからのかに	成る。)に来りしませ
べき事場	(*(の) 注に其がいて国知」たかまなの判明いて	A to Trelitable as leave on
(該当に〇)	*(〇) 法に基づいて周知した大きさの制限以下	の水産期種物が相当程
	度採捕された場合は、漁場の位置を変更しま	9.
	*(Q) 法に基づいて周知した採捕禁止となって	いる水産動植物が相当
	程度採用された場合は、漁場の位置を変更	します。
	() その他()
※ 「周知する	内容」のうち、該当しない部分は2本線 (一)で消した	うえ 控印オステル
* 1/51/11	一つしない アルノバスと 本本 (一一) で得した	ーフス、捺印すること

登録番号 福岡県 1173 田名又け名称 大部 五 年 日1							
	新善則						
作成日 変更日 1: 八名文は名称 小写山	1 2.						

別表 13 法第 16 条に基づく周知の内容及び方法等

周知の方法 (該当にO)

() 遊漁船に周知内容を掲示する。

(〇) 遊漁船の乗船前に書面で配布、回覧をする。

() 営業所のモニター又はタブレット端末などで視聴してもらう(ウェブサイトに周知事項をまとめた動画等の視聴等を含む)。

周知する内容

案内する漁場における、以下の関係法令等に基づく水産動植物の採捕に関する制限又は禁止及び漁場の使用に関する制限の内容(漁具及び漁法の制限、水産動植物の大きさの制限、採捕禁止となっている水産動植物の種類等)を周知します。

① 水産資源保護法に基づく爆発物、有 毒物の使用禁止

- ② 漁業法及び水産資源保護法に基づく省令 (瀬戸内海漁業取締規則等)
- ③ 都道府県漁業調整規則
- ④ 海区又は連合海区漁業調整委員会の指示
- ⑤ 広域漁業調整委員会の指示
- ⑥ 事業者が所属する団体が当事者となっている漁場利用協定(沿岸 漁場整備開発法に基づき届出されたもの)
- ⑦ 事業者が所属する漁業協同組合が定めた資源管理規程(水産業協同組合法に基づき認定を受けたもの。)
- ⑧ 法に基づく協議会において協議が調った事項
- ⑨ その他都道府県が提供している情報

上記の関係法令等に基づき、あるいは国や地方公共団体による採捕量調査への報告が求められている水産動植物を利用者が採捕した場合には、採捕量調査への協力をするよう周知します。

利用者保護のために業務主任者が遵守すべき事項

- ・都道府県漁業調整規則又は海区、連合海区若しくは広域漁業調整委員会の指示によって定められた水産動植物の採捕禁止区域(利用者に採捕させる水産動植物に係るものに限る。)に案内しません。
- ・周知した大きさの制限以下の水産動植物が相当程度採捕された場合は、漁場の位置を変更します。
- ・周知した採捕禁止となっている水産動植物が相当程度採捕された場合は、漁場の位置を変更します。
- ・その他 |